

前浜通信



入学式の様子

令和五年四月六日（木）午後二時開式で、本校の第五十二回入学式が挙行されました。前田弘村長を始めとする多数のご来賓がご臨席される中、十四名の新一年生が入学しました。

今年の入学式は、ほぼコロナ感染症の影響を受けずに挙行されました。

在校生も朝の始業式から一年生を歓迎しようと準備に全力をかけた。

会場の椅子並べや紅白幕貼りはもちろんのこと、入口の装飾や校歌紹介の時のために歌の練習もしました。

今までは、飛沫の拡散防止のために歌唱はしないようにと言われてきたために、歌の入ったCDを流して心の中で歌っているだけでした。

高等学校では、芸術が選択と選んでいるため、約半分は美術を選択しているために、校歌を歌うのは今日が初めてである生徒もいたのでしょうか。

でも、毎月最初に朝礼があつて、始めに校歌を歌っていただきましたので、心の中で歌っていたにせよ、メロディが身につけていたのでしょうか。

校長 中間 均

音楽の尾木先生の指導で練習を開始しましたが、「だいぶ声が出ていました。」とのことで練習は一回で終わりました。

式も順調に進み、歓迎のことばを三年生の清水柚子さんが述べました。

各御翼、部活動、神チャレ島勉強の話の後、離島留学生のことについて

「神津中学校の出身者は、分からないことや悩みなどはどんどん聞いてあげて下さい。」「私たちが上級生もついていますので、安心して学校生活を送ってもらえるように支えていきます。」

と、とても素晴らしい歓迎のことばを送りました。

それを受けて、新入生の稲葉彩友さんが、新入生誓いのことばを述べました。

挑戦することと楽しむことを大切にしたいと思いますがメリハリと責任は忘れないようにして、感謝の気持ち忘れずに高校生活を過ごしたいと力強い想いを語ってくれました。

保護者の一人の方は、「素晴らしい入学式をありがとうございました。感激しました。」とおっしゃってくださいました。

写真は、今年度入学式の集合写真

令和5年度 着任された教職員紹介

4月から神津高校に着任された教職員を紹介いたします。
写真上左から長沢由佳、川田美由紀、吉井奈津美、
竹中友麻、下左から、毛塚節子、河合隆繁、小澤憲司、
村上八寿貴、田中健です。



小澤 憲司副校長

毎日の行き帰りや、仕事の合間に前浜の海を眺めると、不思議と自分が前からここにいたような感じがします。この素敵な島の一員として、皆様と一緒に暮らせることを幸せに思います。島のために尽力いたしますので、よろしく願っています。

村上八寿貴経営企画室長

十年以上前に初めて神津島を訪れた際、天候が悪く天上山に登れませんでしたので、今回は実現したいと思います。昨年度実施された、総合防災訓練では、大島支庁職員として参加しましたが、神津高校の生徒も参加していたので心強かったです。微力ながら神津島のために尽力したいと思います。

河合隆繁先生(理科)

楽しみにしていた神津島の生活が始まりました。豊かな自然に囲まれた。神津島で、理科の教員として、山や海岸の生物観察、火山の調査、天体観測などの活動を生徒たちと一緒に進めてゆきたいと考えています。将来、神津島の魅力を世界に発信できるような人材を育成することが目標です。よろしく願っています。

川田 美由紀先生(国語)

私は、多摩工業高等学校から参りました。神津島は海が美しく、自然豊かでした。皆さんの魅力にあふれた場所だと思えます。そのような素敵なところでダイビングなど新たなチャレンジをたくさんしたいと思っています。全力で何事にも取り組んでいきますのでどうぞよろしく願っています。

吉井 奈津美先生(国語)

都立武蔵村山高校から参りました。教科は国語を担当します。綺麗な海や砂浜、緑豊かな山に囲まれた神津島で過ごせることに、今とてもわくわくしています。生徒と一緒に色んなことにチャレンジし、生徒と一緒に成長していきたいです。どうぞよろしく願っています。

長沢 由佳先生(家庭)

島の生活にご縁があり、三宅島に続き2島目となりました。神津島に赴任する日をとっても楽しみにしておりました。生徒たちと島の四季・自然の中でのびのびな学校生活を送れることをうれしく思います。皆さんの進路実現へ向け、微力ながらお手伝いできると良いなと考えております。どうぞよろしく願っています。

田中 健 (英語)

私は三宅島で育ちました。15歳の時に噴火で東京に避難して以来、久しぶりの島生活。そして島のみなさんとの学びにワクワクしていると嬉しいです。美しい白い砂浜と豪快な天上山の山肌を見ながら、新しい生活を楽しみたいと思います。

毛塚 節子先生(英語)

同じ伊豆諸島の八丈島へ赴任して以来通算11年程住んでいました。今回、縁があつて神津高校に参りました。様々な現場で外国語教育に携わってきましたが、神津島でも多く多くの生徒が英語を理解できるようにするためのお手伝いが出てくることを嬉しく思っております。島内をトボトボと歩いている人間がいましたら、それは私です。どうぞよろしく願っています。

竹中 友麻さん(経営企画室主事)

生活の変化、環境の変化への戸惑いがあります。家からすぐにみられる島の雄大な景色を少しずつ楽しんでいきます。今は学校の裏から海が見えることに逐一感動しています。長い距離をのんびり歩くのが好きなので今後は散歩や星空観賞などしていきたいと思っております。よろしく願っています。